

新型コロナウイルス感染症に関する症状の遷延 (いわゆる後遺症) に係るアンケート調査の結果について

令和4年9月

茨城県保健医療部感染症対策課

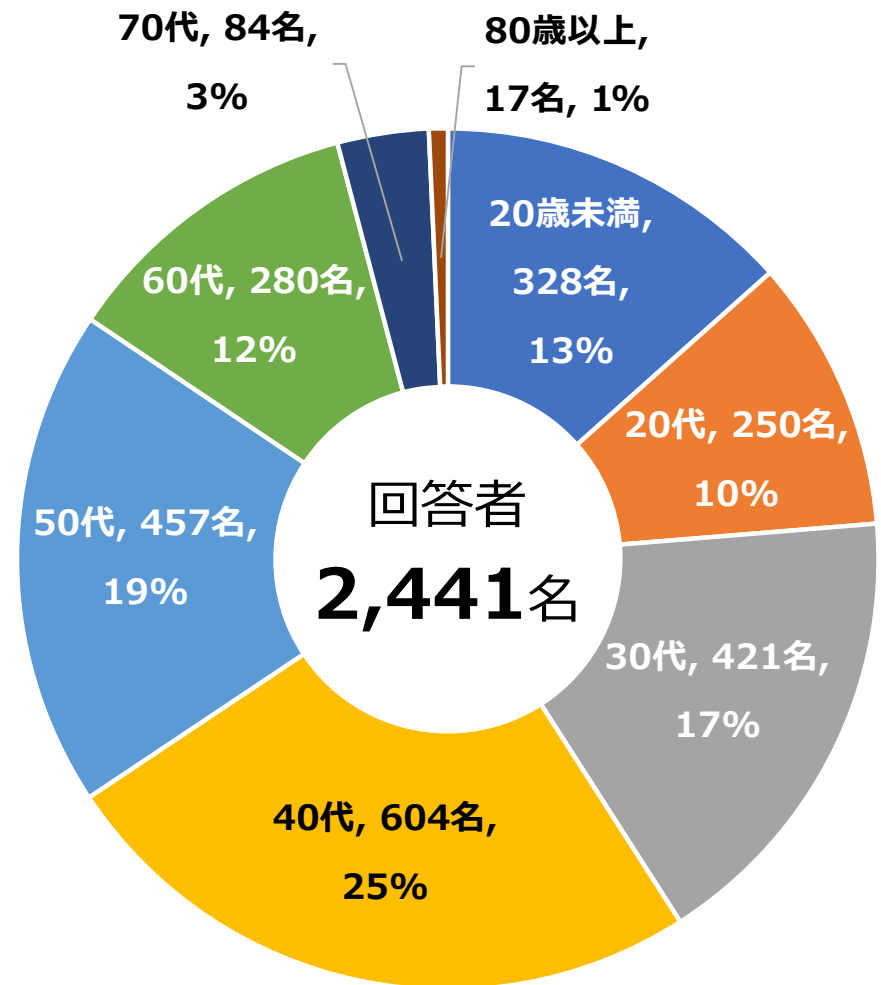
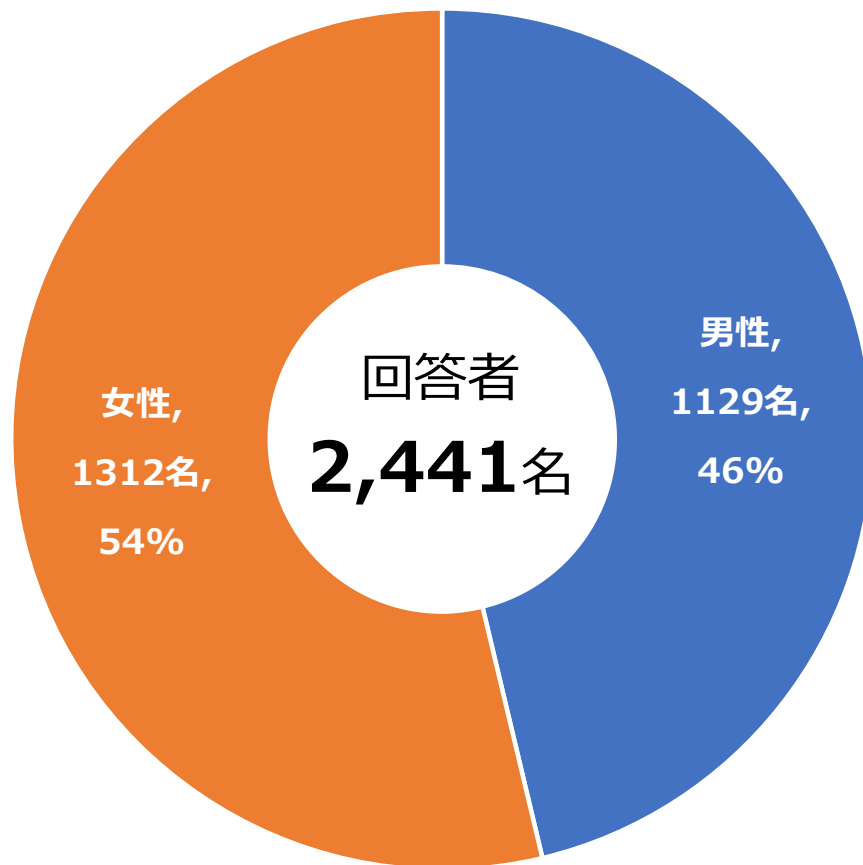
- **目的**： 新型コロナウイルス感染症の療養期間終了後の諸症状（以下、「罹患後症状」という。）の県内の状況を把握し、今後の情報発信の在り方や相談体制の更なる強化を検討する。
- **対象者**： 令和4年1月～3月に新型コロナウイルス感染症の陽性が判明し、アンケート送付時点（6月14日）で療養を終えている者
- **対象者数**： 40,424名
- **方法**： 調査への協力依頼文をメール送付し、「いばらき電子申請・届出サービス」により回答
- **回答者数**： 2,441名（回答率：6.0%）
- **留意事項**： 罹患後症状を有する方が積極的に回答するなど、結果に偏りが生じている可能性がある。令和3年11月に実施したアンケートと同様の手法により実施したが、ウイルスの特性や陽性者の属性等が異なるため、単純比較は適当ではない。

調査結果の概要

- ◆ 新型コロナの症状の有無は男女で差がないが、**罹患後症状は女性に多い**（男性42%、女性57%）。特に、**30代・40代の女性では65%で罹患後症状**が見られた（20歳未満では男女ともに3割弱）。
- ◆ 「既往歴、喫煙・飲酒歴の有無」と「罹患後症状の有無」とは、関連性が見られない。
- ◆ 罹患後症状があった者の**9割以上が複数の症状を経験**し、男性の4分の1が「4～6種類」、男女ともに4分の1が「7～9種類」を経験した（している）。
- ◆ **男女ともに「咳嗽（せき）」**（男女計で総回答の41%）、**「倦怠感」**（同39%）の順に多い。**「味覚障害」・「抑うつ」・「睡眠障害」・「嗅覚障害」等は約1割**で認められた。
- ◆ **出現した罹患後症状は、年代により大きな差はない**（調査項目の21症状で出現順位はほぼ同じ）。一方で、各年代の上位5症状では、20歳未満・70代・80歳以上で「食欲の低下」、70代で「集中力の低下」が多く、80歳以上については、「食欲の低下」・「抑うつ」・「記憶障害」等が年代別で最も多い。
- ◆ **大半の罹患後症状が、新型コロナの発症日と同じ週に出現**する。一方で、**「抑うつ」・「胸痛」等の約1割、「記憶障害」の約2割、「脱毛」の約4割は新型コロナの発症日から1か月後以降に出現**するなど、特定の症状では差が見られる。
- ◆ 罹患後症状があった者の**6割弱が1週間以内、8割が1か月以内に症状が軽快**したが、**1割では3か月以上継続**した（している）。
- ◆ **「咳嗽（せき）」・「集中力の低下」・「睡眠障害」・「嗅覚障害」の3割以上、「抑うつ」の4割以上、「記憶障害」・「脱毛」の5割以上が、1か月以上継続**した（している）。
- ◆ 罹患後症状がある（あった）者のうち、**罹患後症状のために医療機関を受診したのは3割弱**で、「症状の回復」や「受診先が不明」等の理由により、7割強は受診していない。

回答者の属性 (性別・年代別)

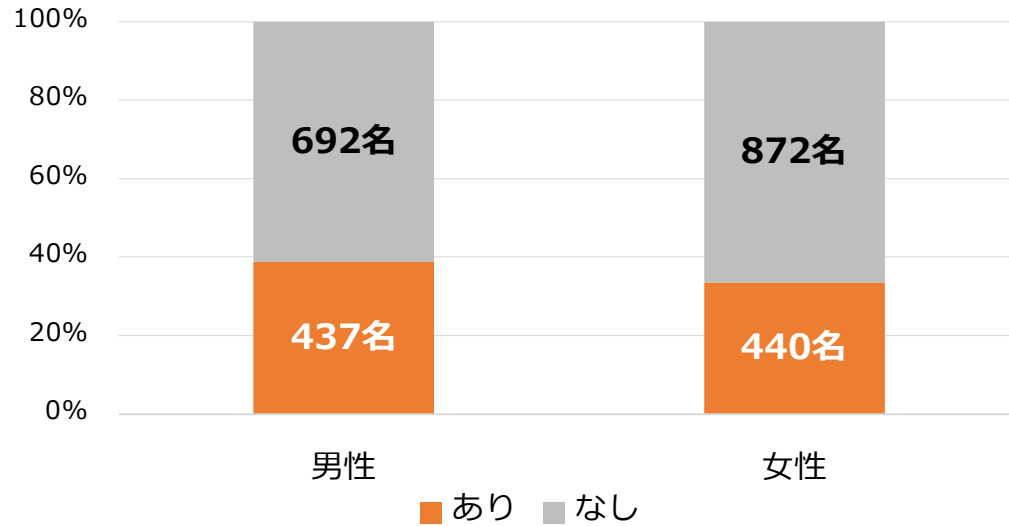
- ◆ 回答者2,441名のうち、男性は1,129名 (46%)、女性は1,312名 (54%)。
- ◆ 年代別では、40代が最も多く604名 (25%)、次いで50代で457名 (19%)。



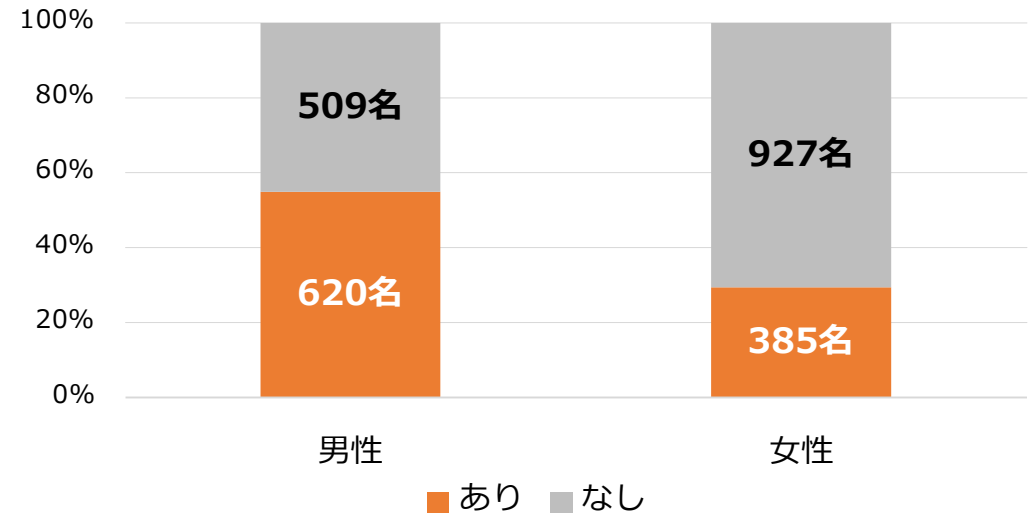
回答者の属性 (既往歴・喫煙歴・飲酒歴・ワクチン接種歴)

◆ 回答者2,441名のうち、既往歴ありは877名 (36%)、喫煙歴ありは1,005名 (41%)、飲酒歴ありは1,786名 (73%)、ワクチン接種2回目接種済みは2,035名 (83%)。

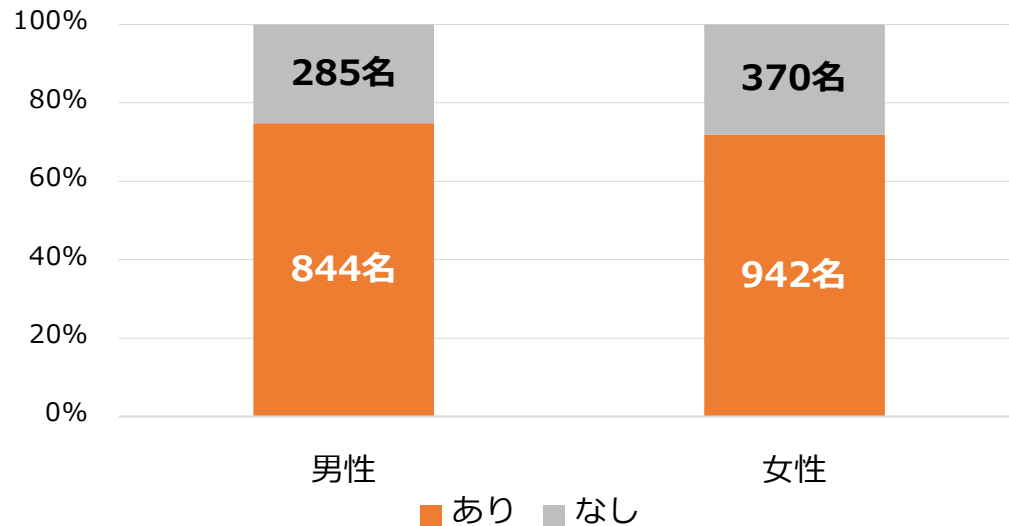
既往歴



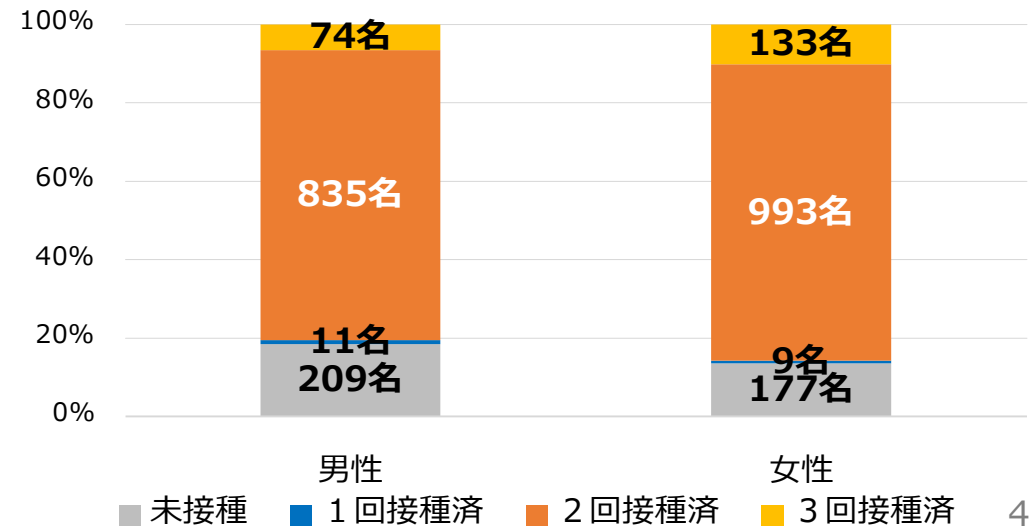
喫煙歴



飲酒歴

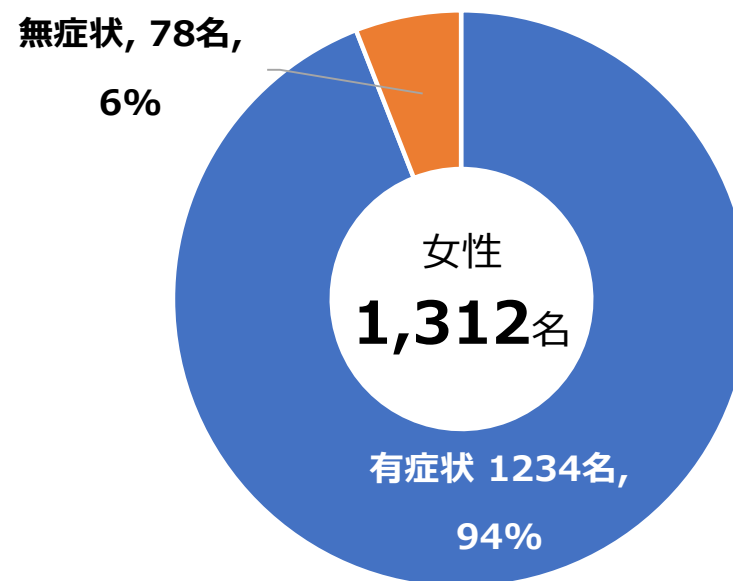
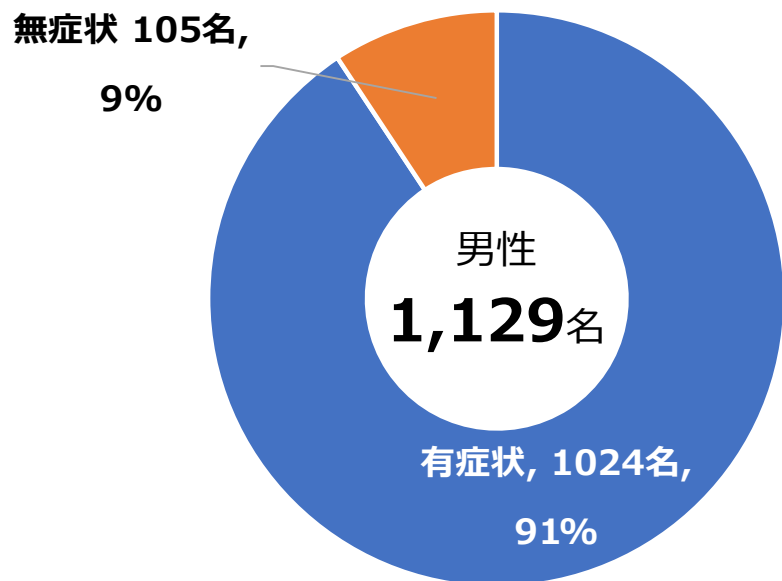


ワクチン接種歴

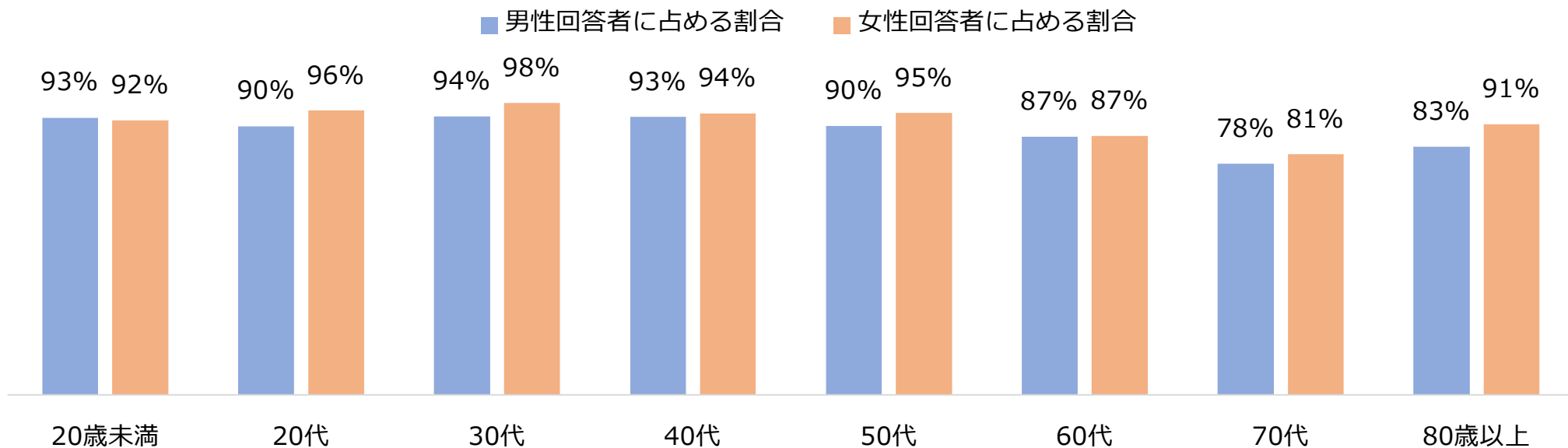


新型コロナウイルス感染症の症状の有無 (性別・年代別)

- ◆ 回答者2,441名のうち、新型コロナウイルス感染症の有症状者は2,258名 (93%)。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の症状の有無について、性別・年齢別による有意な差は見られない。



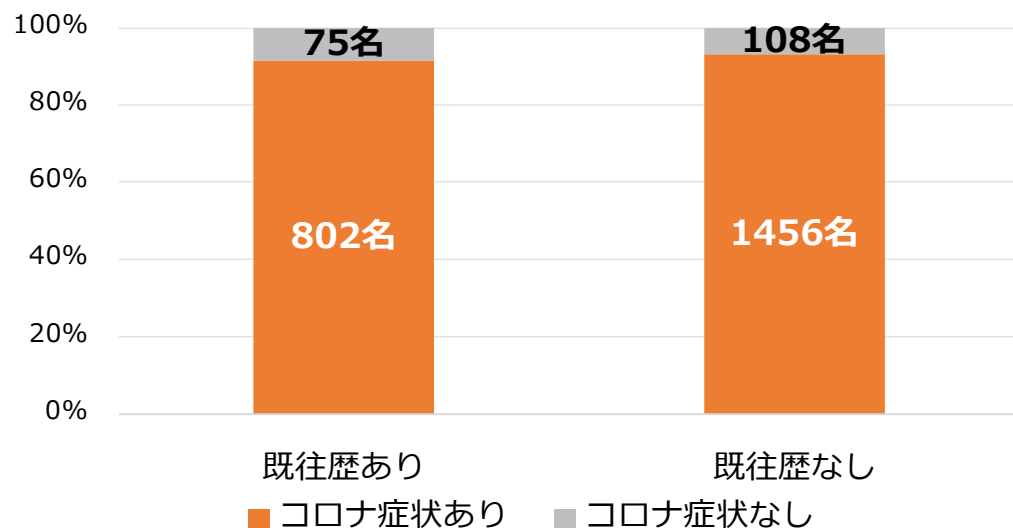
「症状あり」の性別・年代別の割合



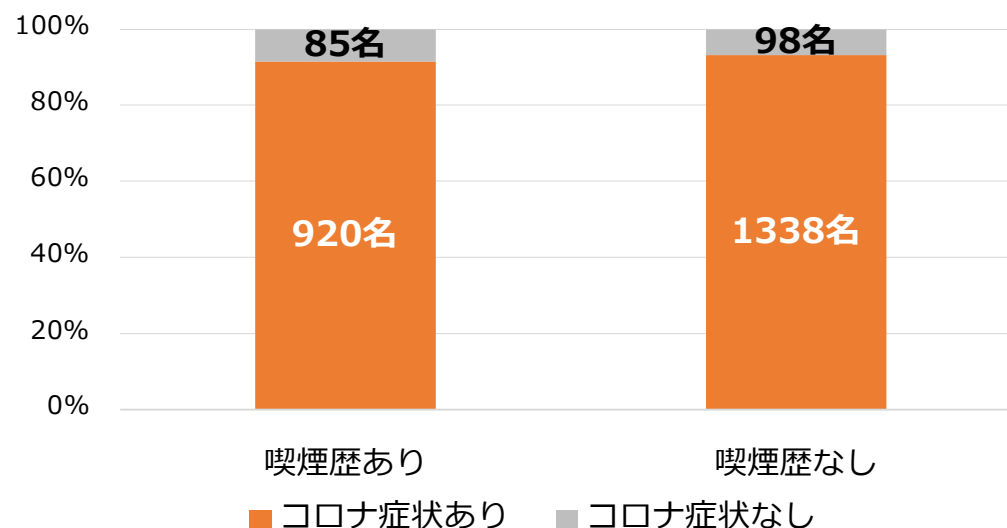
新型コロナウイルス感染症の症状の有無（既往歴等）

◆ 有症状者2,258名のうち、既往歴ありは802名（36%）、喫煙歴ありは920名（41%）、飲酒歴ありは1,646名（73%）、ワクチン接種2回目接種済みは1,879名（83%）。

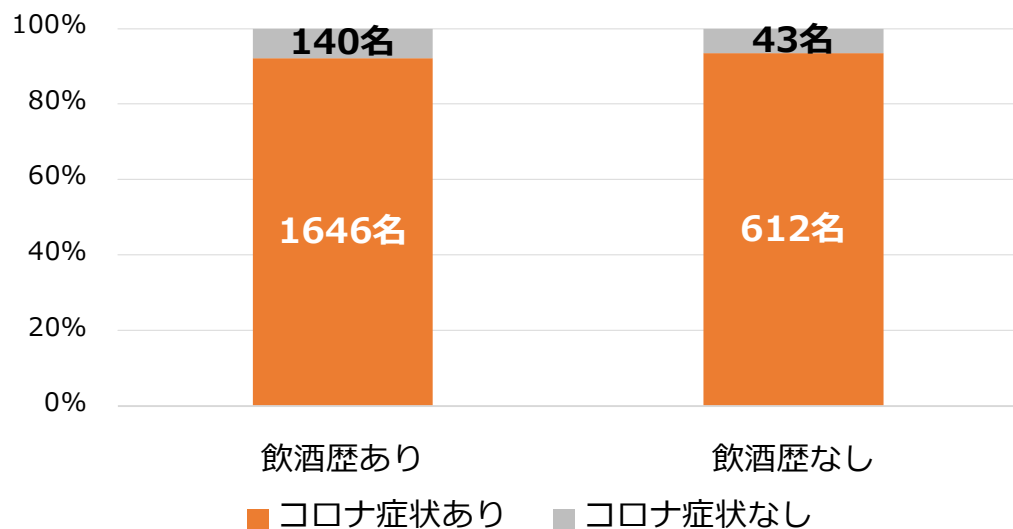
既往歴



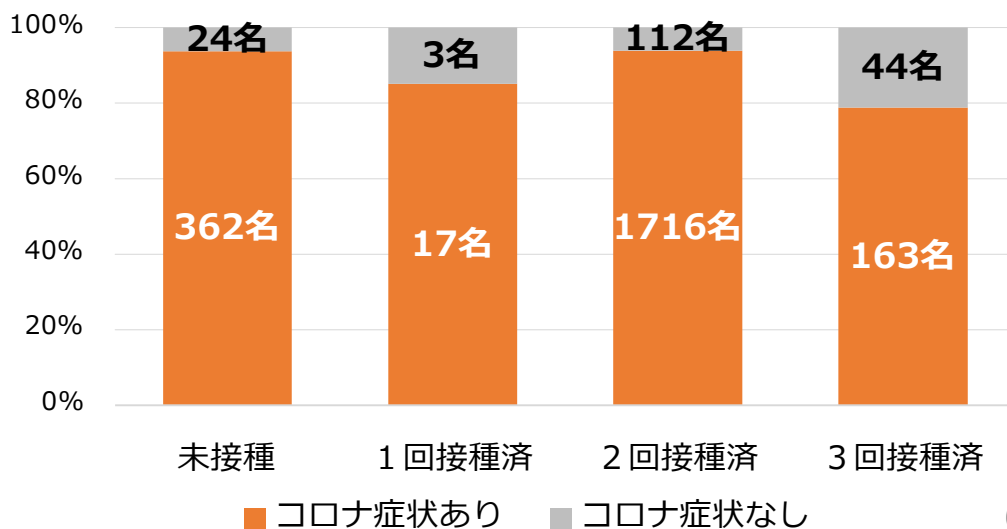
喫煙歴



飲酒歴

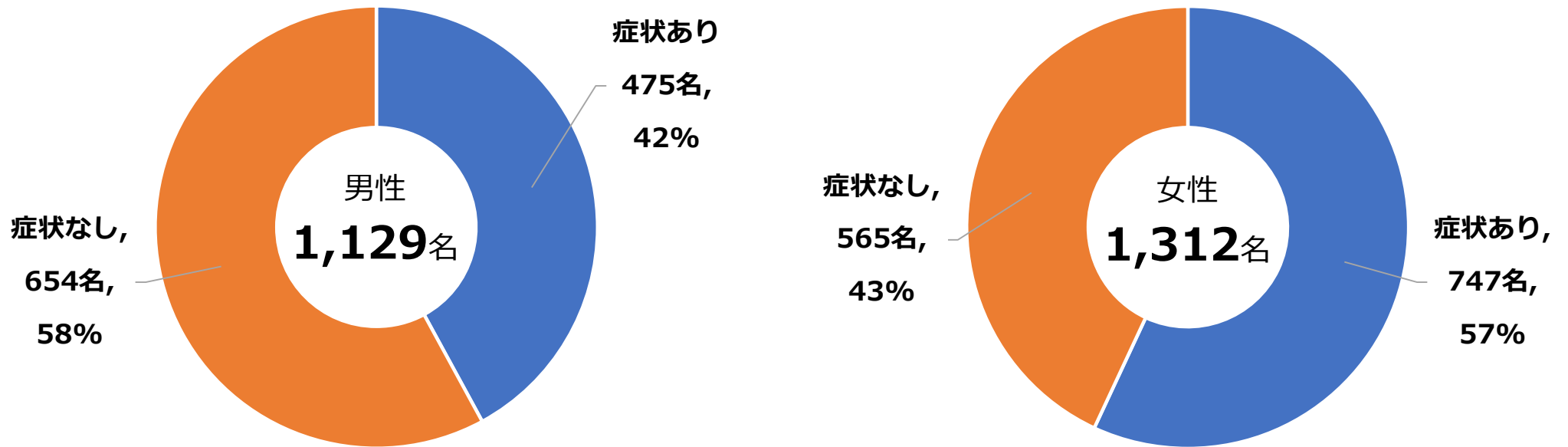


ワクチン接種歴



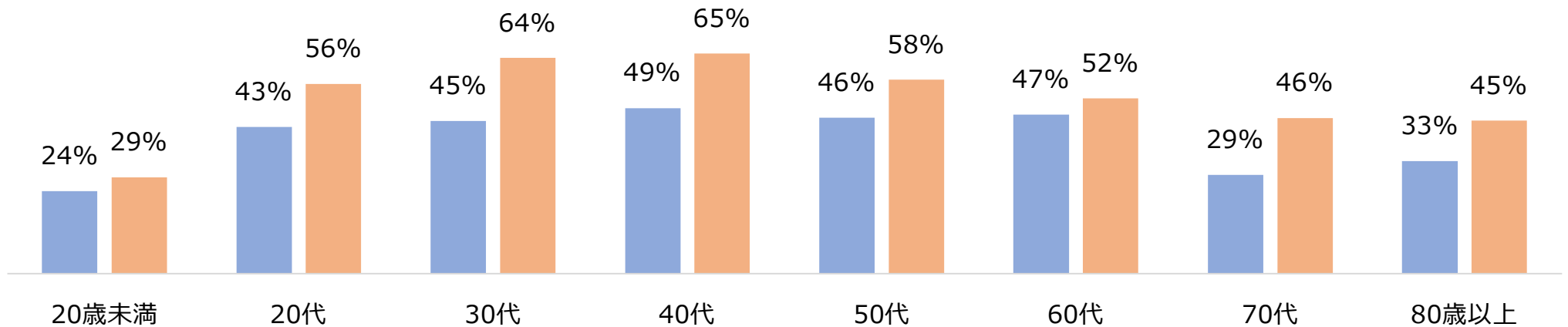
罹患後症状の有無 (性別・年代別)

- ◆ 回答者2,441名のうち、後遺症等の症状がある（あった）のは1,222名（50%）。
- ◆ 性別・年齢別による差が見られ、特に30代・40代の女性では約65%で症状が見られた。



「症状あり」の性別・年代別の割合

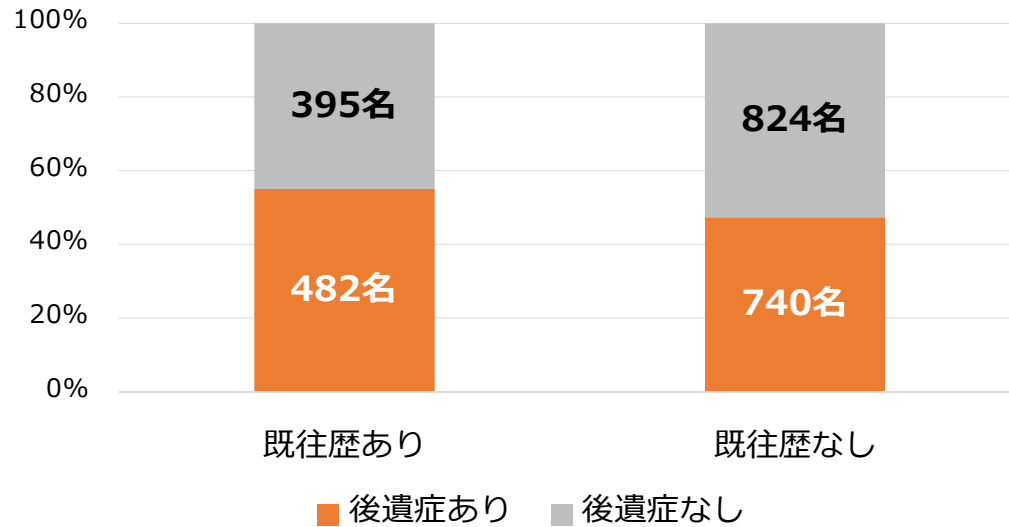
■ 男性回答者に対する割合 ■ 女性回答者に対する割合



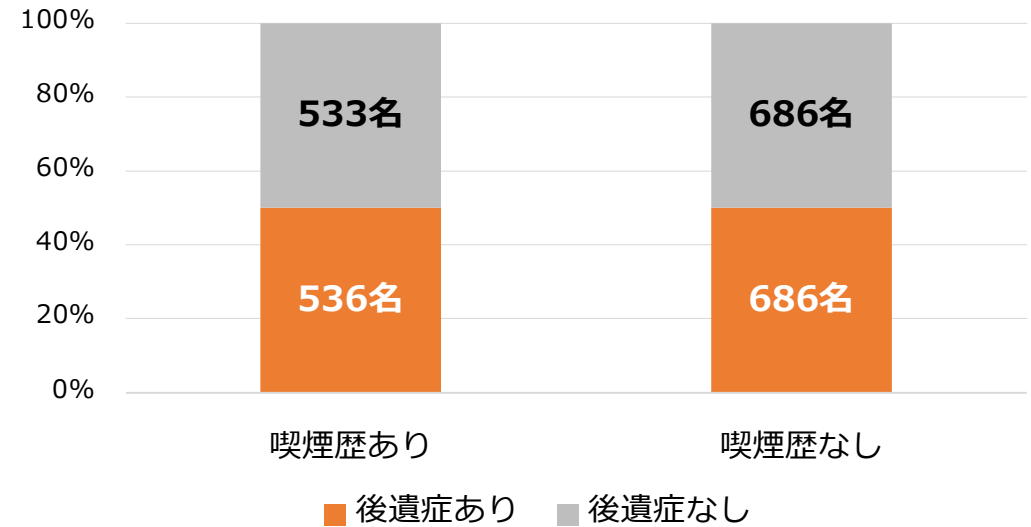
罹患後症状の有無（既往歴等）

◆ 症状がある1,222名のうち、既往歴ありは482名（39%）、喫煙歴ありは536名（44%）、飲酒歴ありは947名（77%）、ワクチン接種2回目接種済みは1,059名（87%）。

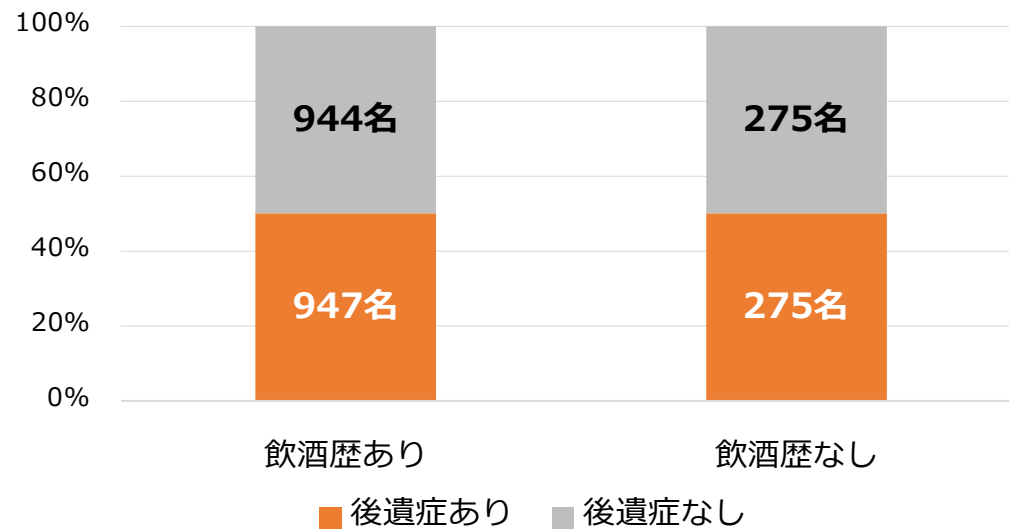
既往歴



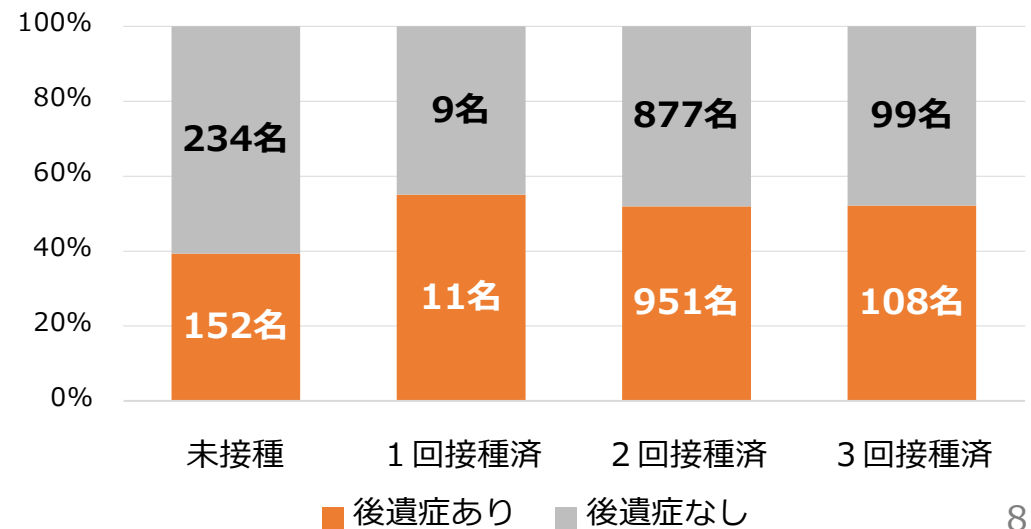
喫煙歴



飲酒歴



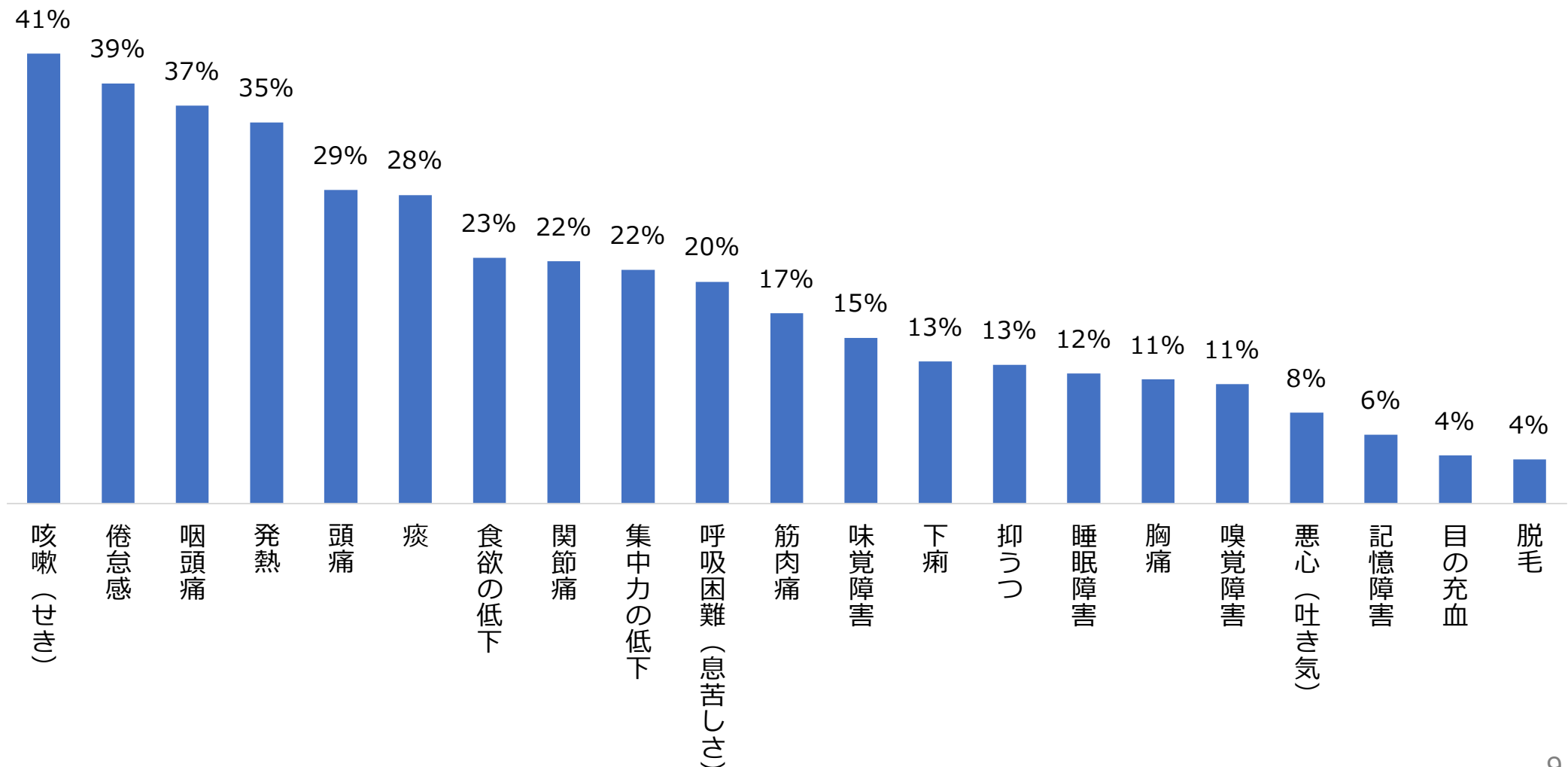
ワクチン接種歴



罹患後症状の出現状況① (症状の種類)

- ◆ 「咳嗽（せき）」・「倦怠感」・「咽頭痛」・「発熱」は、回答者の3割以上が経験。
- ◆ 「味覚障害」・「抑うつ」・「睡眠障害」・「嗅覚障害」など、“通常の風邪”とは異なる症状も、回答者の1割以上が経験。
- ◆ 「記憶障害」・「脱毛」は回答者の1割未満だが、日常生活に支障を来す旨の回答があった。

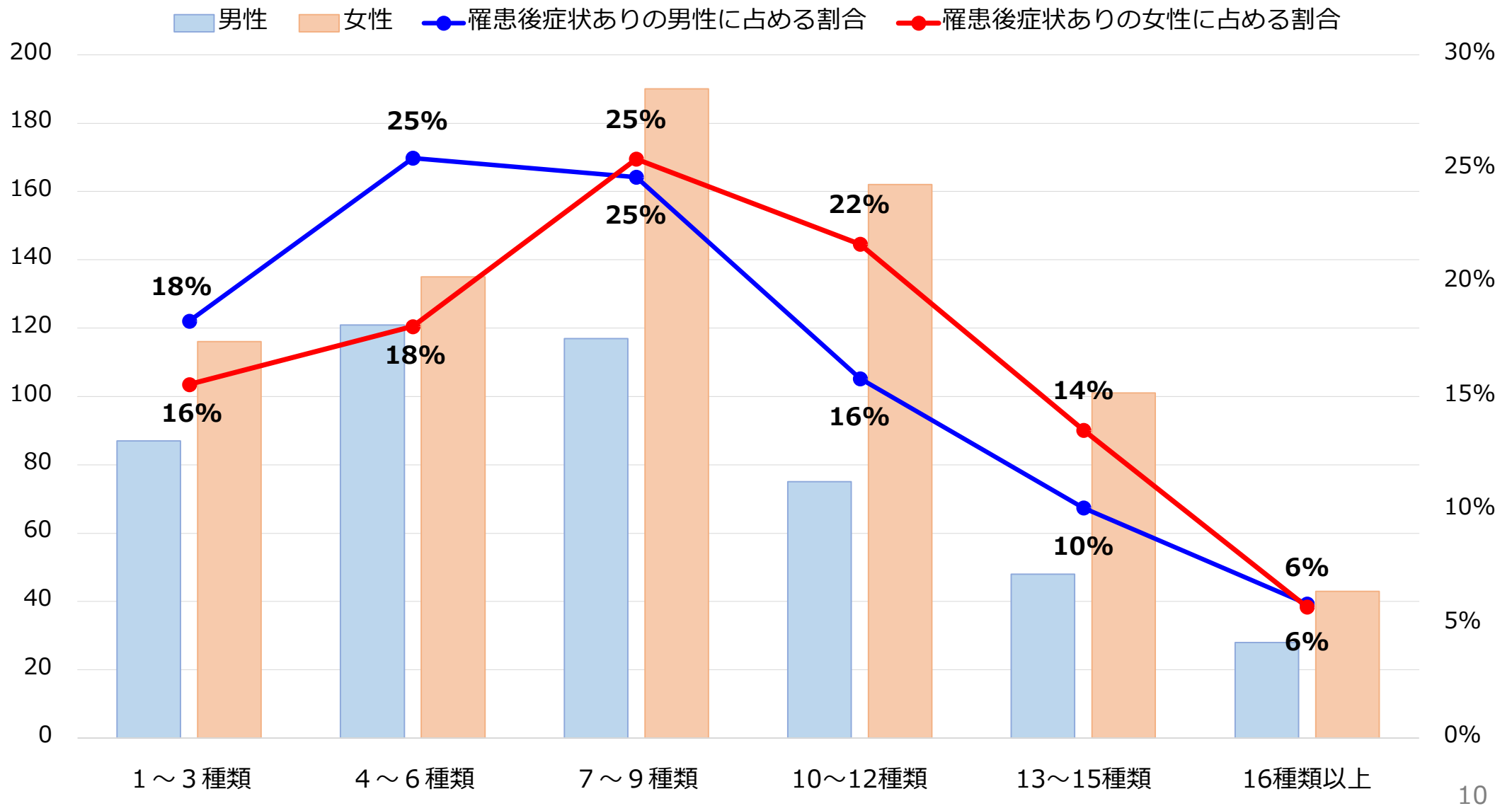
罹患後症状の内容 (回答者全体に対する割合)



罹患後症状の出現状況② (症状の個数)

- ◆ “罹患後症状あり”の回答者のうち、9割以上が複数の症状を経験。
- ◆ “罹患後症状あり”の回答者のうち、男性の4分1が「4～6種類」、男女ともに4分の1が「7～9種類」を経験。

罹患後症状の出現個数

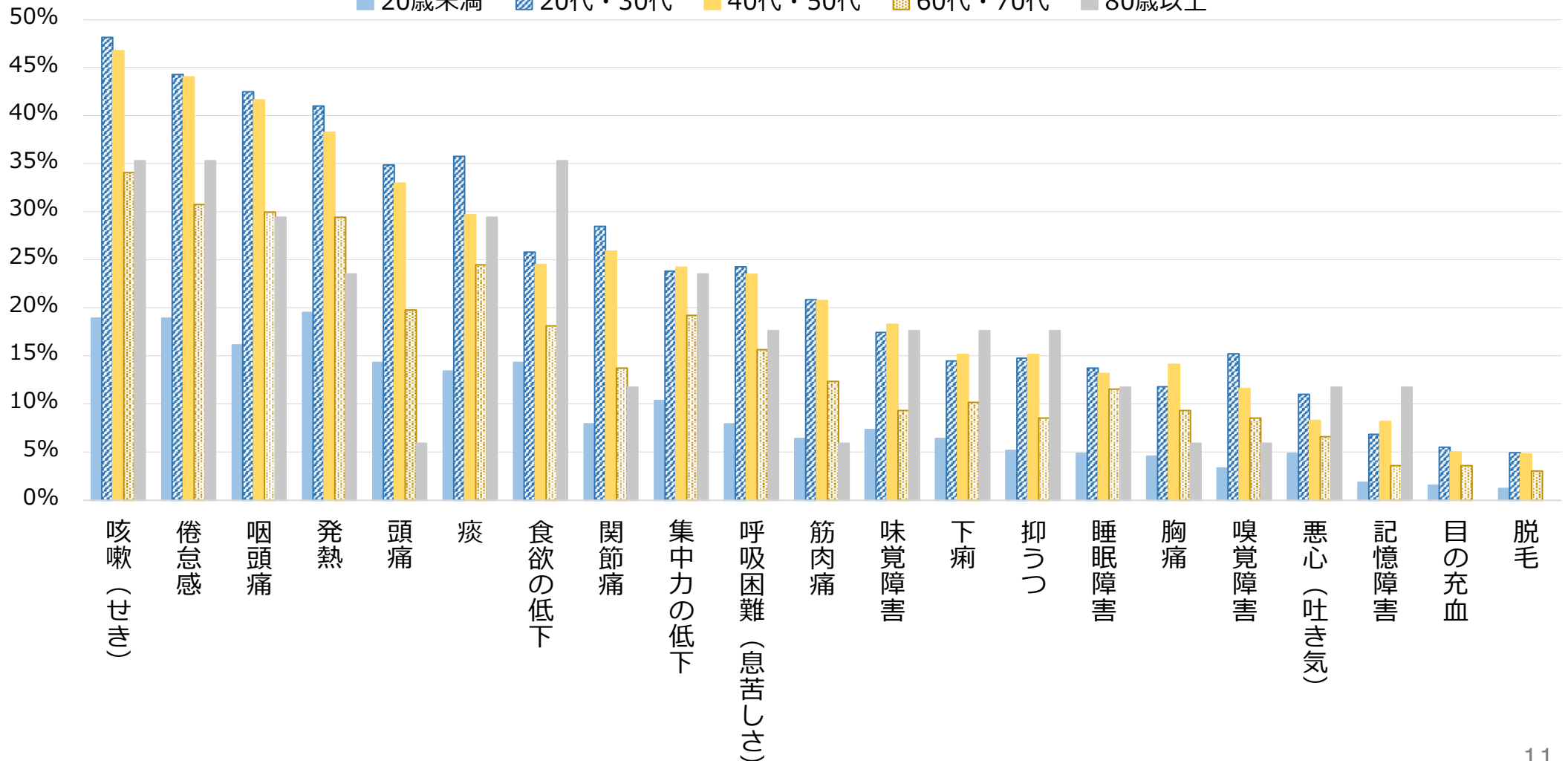


罹患後症状の出現状況③-1 (年代別割合)

- ◆ 20歳未満では、「発熱」が20%と最も高く、他年代と比較すると症状出現は少数。
- ◆ 20代・30代では、「咳嗽（せき）」等が40%超をはじめ、多くの症状で年代別最多。
- ◆ 80歳以上では、「食欲の低下」・「抑うつ」・「記憶障害」等で年代別最多。
- ◆ その他、20代・30代及び40代・50代の5%が「脱毛」の症状を経験。

年代別の罹患後症状の出現割合 (回答者全体に対する割合)

■ 20歳未満 ■ 20代・30代 ■ 40代・50代 ■ 60代・70代 ■ 80歳以上



罹患後症状の出現状況③-2 (年代別実数・割合)

◆ 罹患後症状の年代別出現状況は、下表のとおり。

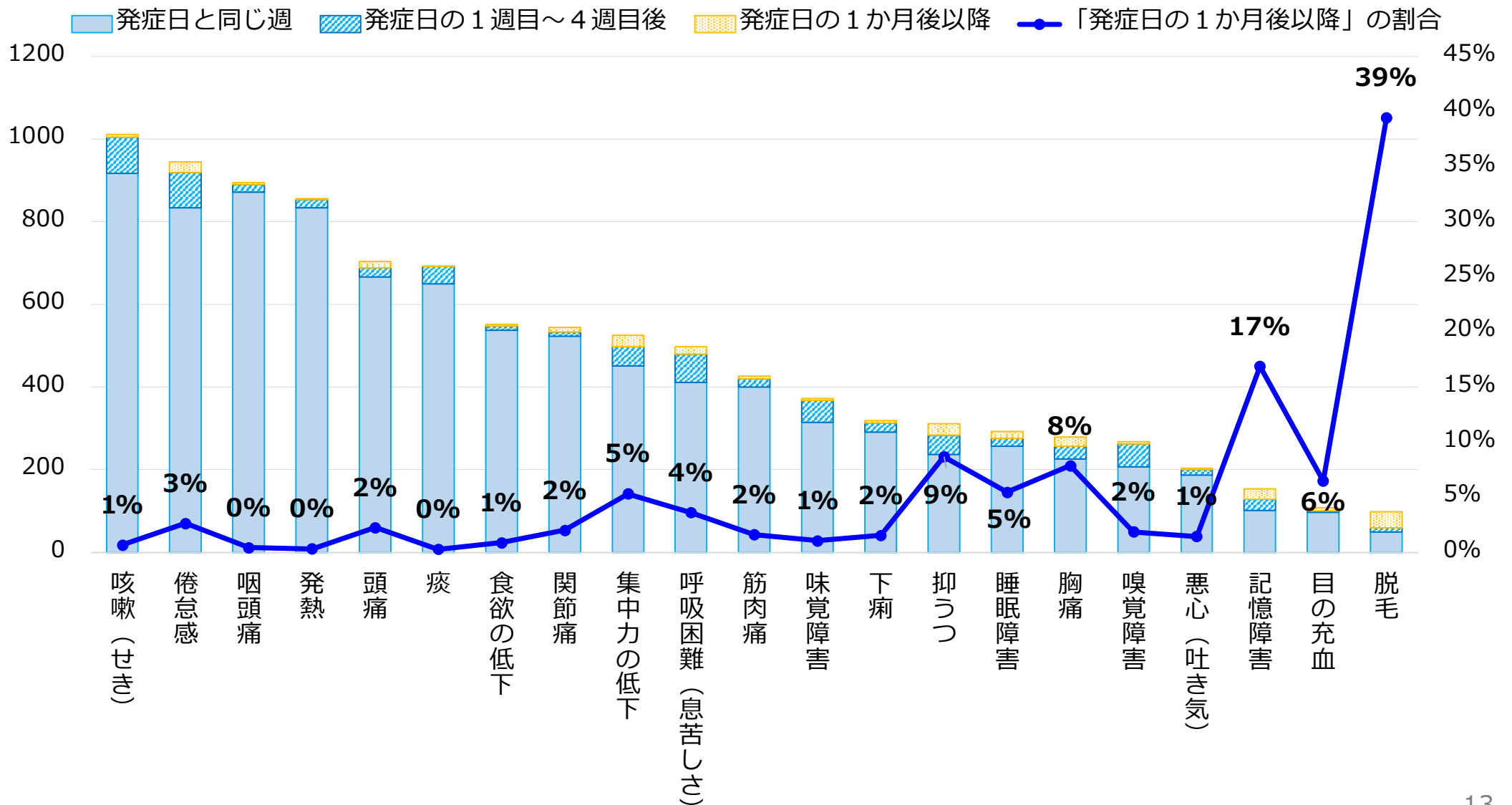
	咳嗽	倦怠感	咽頭痛	発熱	頭痛	痰	食欲の低下	関節痛	集中力の低下	呼吸困難	筋肉痛	味覚障害	下痢	抑うつ	睡眠障害	胸痛	嗅覚障害	悪心・嘔吐	記憶障害	目の充血	脱毛
20歳未満	62	62	53	64	47	44	47	26	34	26	21	24	21	17	16	15	11	16	6	5	4
	19%	19%	16%	20%	14%	13%	14%	8%	10%	8%	6%	7%	6%	5%	5%	5%	3%	5%	2%	2%	1%
20代	116	106	96	97	80	88	57	70	55	58	49	45	29	37	27	30	37	24	7	16	10
	46%	42%	38%	39%	32%	35%	23%	28%	22%	23%	20%	18%	12%	15%	11%	12%	15%	10%	3%	6%	4%
30代	207	191	189	178	154	152	116	121	105	105	91	72	68	62	65	49	65	50	39	21	23
	49%	45%	45%	42%	37%	36%	28%	29%	25%	25%	22%	17%	16%	15%	15%	12%	15%	12%	9%	5%	5%
40代	307	280	266	239	216	195	155	178	157	150	130	126	96	100	83	94	85	53	55	33	39
	51%	46%	44%	40%	36%	32%	26%	29%	26%	25%	22%	21%	16%	17%	14%	16%	14%	9%	9%	5%	6%
50代	189	187	176	167	134	120	105	97	100	99	90	68	65	61	57	56	38	35	32	20	12
	41%	41%	39%	37%	29%	26%	23%	21%	22%	22%	20%	15%	14%	13%	12%	12%	8%	8%	7%	4%	3%
60代	106	93	97	90	61	79	52	44	55	48	37	32	31	24	35	30	29	21	11	12	10
	38%	33%	35%	32%	22%	28%	19%	16%	20%	17%	13%	11%	11%	9%	13%	11%	10%	8%	4%	4%	4%
70代	18	19	12	17	11	10	14	6	15	9	8	2	6	7	7	4	2	3	2	1	1
	21%	23%	14%	20%	13%	12%	17%	7%	18%	11%	10%	2%	7%	8%	8%	5%	2%	4%	2%	1%	1%
80歳以上	6	6	5	4	1	5	6	2	4	3	1	3	3	3	2	1	1	2	2	0	0
	35%	35%	29%	24%	6%	29%	35%	12%	24%	18%	6%	18%	18%	18%	12%	6%	6%	12%	12%	0%	0%
合計	1,011	944	894	856	704	693	552	544	525	498	427	372	319	311	292	279	268	204	154	108	99
	41%	39%	37%	35%	29%	28%	23%	22%	22%	20%	17%	15%	13%	13%	12%	11%	11%	8%	6%	4%	4%

(下段の割合は、上段の人数を年齢区分の回答者数(罹患後症状がない者を含む)で除したものの。)

罹患後症状の出現状況④ (出現時期)

- ◆ 大半の症状が、発症日と同じ週に出現。
- ◆ 各症状を経験した回答者のうち、「集中力の低下」・「睡眠障害」の5%、「抑うつ」・「胸痛」等の9%、「記憶障害」の17%、「脱毛」の39%が、発症日から1か月後以降後に出現。

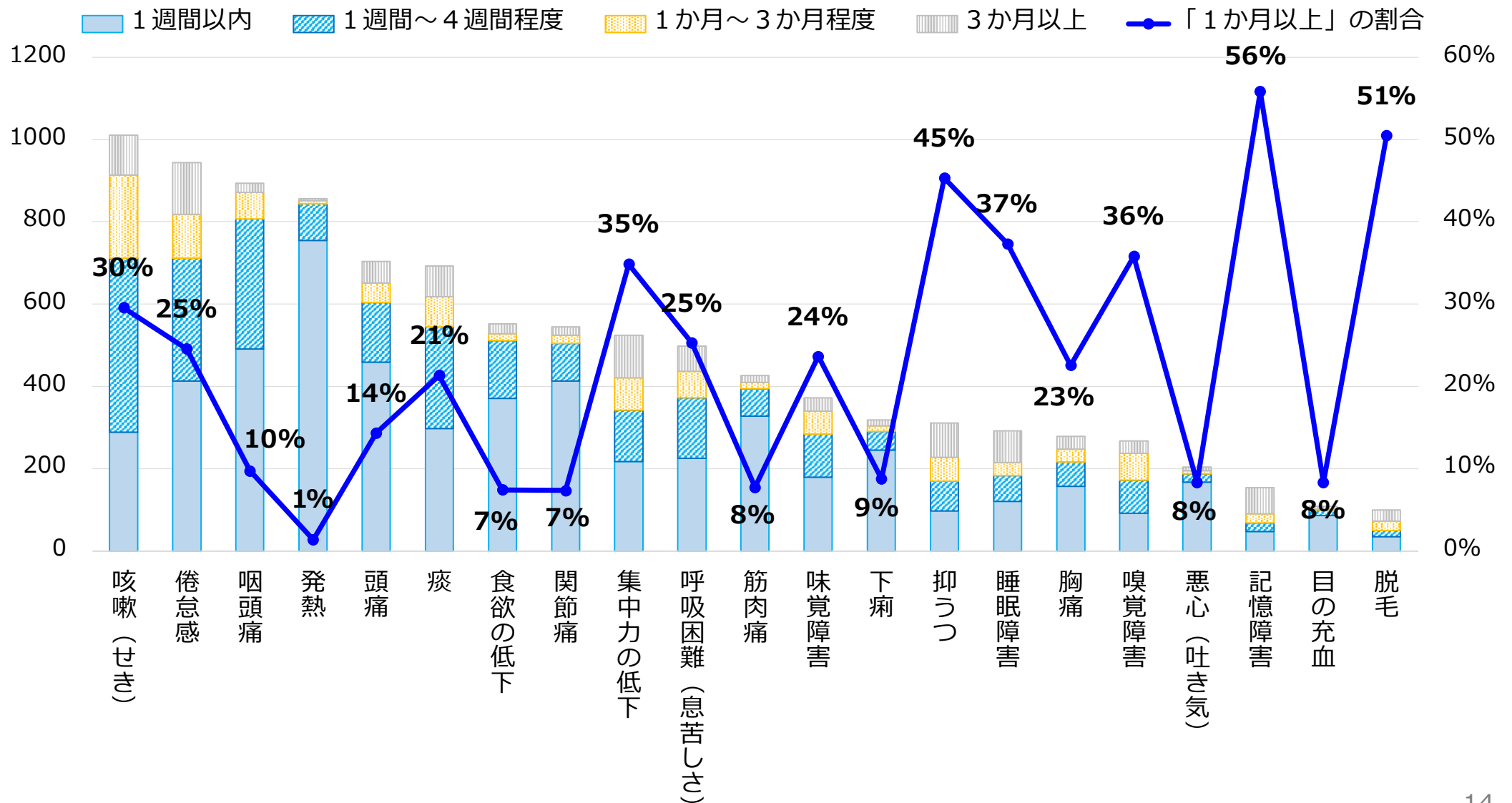
罹患後症状の出現時期



罹患後症状の出現状況⑤ (継続期間)

- ◆ 症状の過半数が1週間以内、大半が1か月以内に軽快。
- ◆ 「咳嗽(せき)」・「集中力の低下」・「睡眠障害」・「嗅覚障害」の30%以上、「抑うつ」の40%以上、「記憶障害」・「脱毛」の50%以上が1か月以上継続。

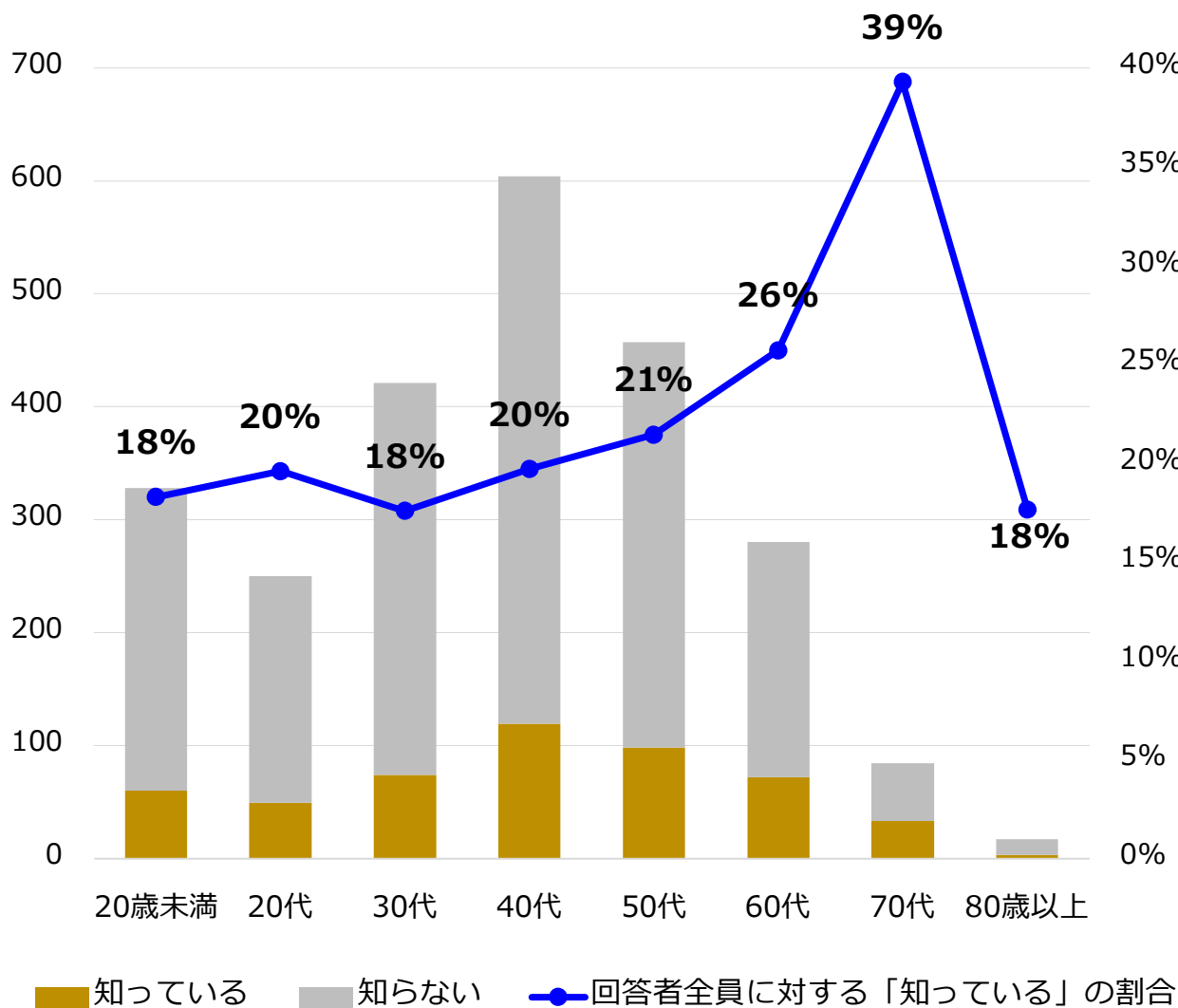
罹患後症状の継続期間



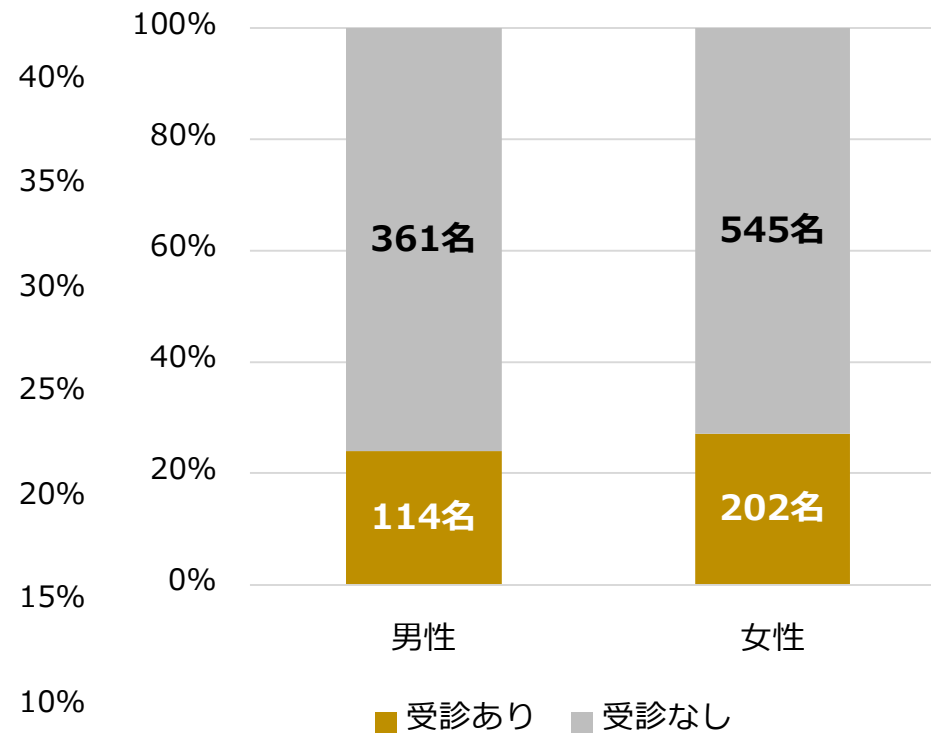
罹患後症状外来実施医療機関の認知状況等

- ◆ 罹患後症状外来実施医療機関の認知度は、全年代平均で21%であり、一層の周知が必要。
- ◆ 「症状の回復」や「受診先が不明」等の理由により、罹患後症状を経験した方のうち、罹患後症状外来実施医療機関を受診したのは26%にとどまる。

罹患後症状外来実施医療機関の認知状況



罹患後症状外来実施医療機関の受診



【受診しなかった理由】

- 症状が回復した・してきたため。
- 仕事や家事で受診する時間が無いため。どの病院（診療科目）を受診したら良いのか分からないため。